



内田恵美子さんの御逝去を悼む

論文部 事務

原爆放射能医学研究所



宇 吹 暁

原爆放射能医学研究所附属原爆被災学術資料センター主任内田恵美子さんは、去る3月5日、8か月余の闘病生活の甲斐もなく、肺がんのため逝去されました。享年49歳でした。

内田さんは、1961年の研究所発足直後に就職されて以来、一貫して研究所の発展に尽くしてこられました。

研究所は、その設立事情から、原爆被爆者・遺族の方々をはじめ多くの方々の御協力により、研究・事業を進めてきました。中でも、爆心地復元事業・アメリカ陸軍病理学研究所からの返還資料の受け入れ・原爆被災資料センター設立運動は、大学としては異例の事業

でした。内田さんは、これらの事務および窓口業務に日夜を問わず傾注されました。1974年、資料センターが発足してからは、事務部の責任者として、また、原爆手記を中心とした文献収集の当事者として職務を遂行されました。資料センターの蔵書目録をこれまで3冊（収録点数4743点）刊行しております。これは、内田さんが、心血を注がれた仕事でした。3冊目の出版は、昨年8月のことでしたが、内田さんは、入院中にもかかわらず、最後までやり遂げられました。

内田さんの足跡と人がらを偲び、衷心より御冥福をお祈り申し上げます。

文 献 館 選 修 書 各 号 照 共 白 誌

第 一 号 上 福 幸 和



平成5年、東北大学による原爆被災学術資料センターの設立... 資料センターの設立は、原爆被災者の方々への支援と、学術研究の発展を目的として行われた。本センターは、原爆被災資料の収集・整理・公開に努め、被災者の歴史を後世に伝える役割を担っている。本誌では、資料センターの活動や、関係者の取り組みについて詳しく紹介する。

東北大学公開講座の計画... 本講座は、原爆被災に関する学術的・社会的な問題をテーマとし、国内外の専門家や関係者を講師として招き、公開講座を開催する。本誌では、講座の計画や、参加者の声について詳しく紹介する。

